

**第6期音更町総合計画**  
**重点施策 第3期総合戦略(素案)**

## 重点施策（第3期音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略）

本計画は2021（令和3）年度～2030（令和12）年度の10年間のまちづくりの方針を示しています。

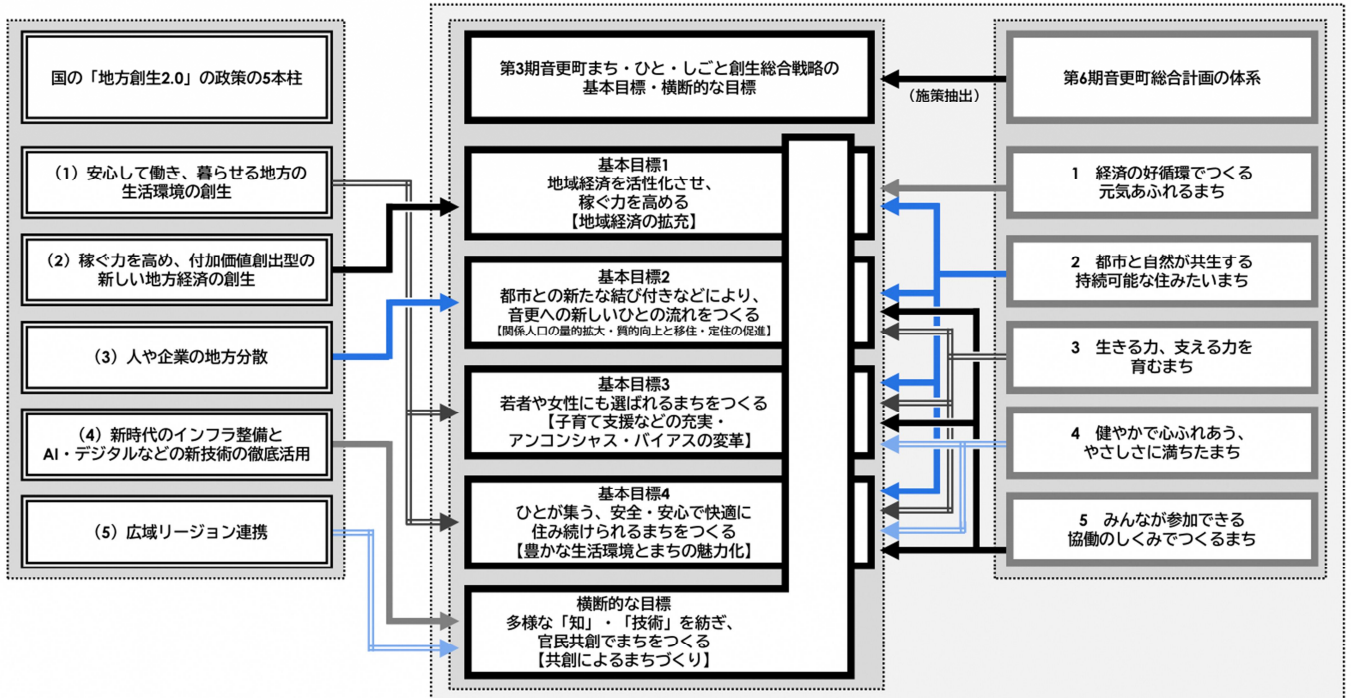
このうち、本計画の前期にあたる2021（令和3）年度～2025（令和7）年度では、2060（令和42）年までを見据えた人口ビジョンを踏まえて、基本計画の中から人口減少対策に関わりの深い施策を抽出し、重点施策として「第2期音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を取りまとめ、施策を推進してきました。

本計画の後期に当たる今後5年間（2026(令和8)年度～2030（令和12）年度）は、国が示す「地方創生2.0」を踏まえ、音更町が持つ資源や魅力を最大限に活かして、強い経済と豊かな生活環境の実現につながる施策を抽出し、重点施策として「第3期音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を取りまとめました。

なお、第2期総合戦略と同様に、人口減少対策に関わりの深い施策も抽出することで、人口減少対策としても位置付けています。

第3期総合戦略は、第2期の基本目標を踏まえつつ、地方創生2.0で新たに示された視点を取り入れた4つの基本目標と、新たに施策間の連携や相乗効果を強化するための「横断的な目標」を掲げています。施策を推進する「事業」は実施計画の中に位置付けます。町の第6期総合計画、第3期総合戦略及び「地方創生2.0」との関係は下図のとおりです。

国の「地方創生2.0」と音更町総合計画・総合戦略の対応関係



# 基本目標 1 地域経済を活性化させ、稼ぐ力を高める【地域経済の拡充】

## 基本的方向

地域資源を活かした産業振興・企業誘致・起業支援などに関係機関が連携して取り組み、域内経済の基盤の強化・活性化を図りながら、ワーク・ライフ・バランスを実現し、「働きがい」と「働きやすさ」のある雇用の場をつくるとともに、人材の育成・確保とその活躍を促進します。

まちが持つ地域ポテンシャルを最大限に活かし、異なる分野や領域に属する人や技術などが従来にはない形で連携する「新結合」により、地域資源やサービスに新たな付加価値を生み出し、まちの「稼ぐ力」を高めます。

数値目標	平均所得※	3,195 千円 (R5)	3,370 千円 (R12)
	観光入込客数	2,480,300 人 (R5)	2,800,000 人 (R12)
総合計画の具体的な施策〈分野〉		重要業績評価指標 (KPI)	
(1) 農業経営の安定化 〈第1章-1 農業 [経営] xx ページ〉	農業総生産額	292.1 億円 (R5)	310.4 億円 (R12)
(2) 担い手、労働力の確保 〈第1章-1 農業 [経営] xx ページ〉	認定農業者数及び認定新規就農者数の割合	94.9% (R5)	95.0% (R12)
(3) 商業者の経営安定に向けた支援 〈第1章-4 商業 xx ページ〉	音更町商工会の会員数	649 人 (R5)	684 人 (R12)
(4) 新たな工業団地開発と企業誘致 〈第1章-5 工業、企業誘致 xx ページ〉	産業用地の土地利用率	93.8% (R5)	95.6% (R12)
(5) 交流人口の拡大に向けた観光振興事業の推進 〈第1章-6 観光 xx ページ〉	宿泊客延数	374.5 千人 (R5)	450.0 千人 (R12)
	道の駅おとふけの来場者数	1,280,212 人 (R5)	1,300,000 人 (R12)
	道の駅ガーデンスパ十勝川温泉の来場者数	227,391 人 (R5)	250,000 人 (R12)
(6) 農商工観連携の推進 〈第1章-7 産業連携 xx ページ〉	新たな特産品などの研究開発支援数 (累計)	34 件 (R5)	56 件 (R12)
(7) 就業、雇用の支援 〈第1章-8 勤労者の保護 xx ページ〉	通年雇用化数 (累計)	184 人 (R5)	240 人 (R12)
(8) 高速道路ネットワーク※の整備促進 〈第2章-8 道路 xx ページ〉	北海道横断自動車道の供用延長	324.4km (R5)	400.4km (R12)
【関連する SDGs の目標】			

1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 17

※平均所得：課税対象所得の総額を納税義務者数で除した額。

※高速道路ネットワーク：高速自動車国道（北海道縦貫自動車道及び北海道横断自動車道）及び一般国道自動車専用道路（帯広広尾自動車道ほか4路線）からなる道路網。

## 基本目標 2

都市との新たな結び付きなどにより、音更への新しいひとの流れをつくる  
 【関係人口※の量的拡大・質的向上と移住・定住の促進】

### 基本的方向

UIJ ターン※、進学、就職、住宅取得など様々な機会に応じた転出抑制、転入支援により定住人口の増加に向けた対策を実施するとともに、関係人口の創出に向けた都市と地方の新たな結び付きや人材の交流を促進し、関係人口の拡大に向けて町民、関係機関が連携して取り組み、新たなひとの流れを創出します。

数値目標	昭和商学校の利用者数	514 人 (R5)	1,300 人 (R12)
	社会増（転入超過）の人数（累計）	5 年間 (R8~R12) で 207 人	
総合計画の具体的な施策〈分野〉		重要業績評価指標 (KPI)	
(1) 宅地の開発 〈第 2 章-12 住宅、宅地 xx ページ〉	宅地造成地区の宅地利用率		
		95.8% (R5)	97.5% (R12)
(2) 空き地、空き家の有効活用 〈第 2 章-12 住宅、宅地 xx ページ〉	空き家対策事業利用件数（累計）		
		21 件 (R5)	31 件 (R12)
(3) 高校教育、高等教育の充実 〈第 3 章-3 高校教育、高等教育 xx ページ〉	共同・連携生涯学習講座の開催数		
		27 回 (R5)	40 回 (R12)
(4) ホームページの充実、インターネットの活用 〈第 5 章-3 広報、広聴、情報公開 xx ページ〉	音更町 LINE 公式アカウントの友だち登録者数		
		4,440 人 (R5)	12,000 人 (R12)
(5) 移住・定住の促進 〈第 5 章-4 交流、移住・定住 xx ページ〉	十勝管外から音更町への移住件数		
		7 件 (R5)	8 件 (R12)
(6) 地域の活性化につながる関係人口の創出・拡大 〈第 5 章-4 交流、移住・定住 xx ページ〉	ふるさと応援寄附金の寄附件数		
		51,686 件 (R5)	67,000 件 (R12)
【関連する SDGs の目標】			
4, 8, 9, 11, 16, 17			

※関係人口：地域や地域に住む人々と多様に関わる人々。

※UIJ ターン：大都市圏の居住者が地方に移り住む動きの総称。U ターンは出身地に戻ることに。I ターンは出身地以外の地方へ移住すること。J ターンは出身地の近くの地方都市に移住すること。

## 基本目標3

### 若者や女性にも選ばれるまちをつくる

#### 【子育て支援などの充実、アンコンシャス・バイアス※の変革】

#### 基本的方向

結婚を望む人や子どもが欲しい人の希望がかなえられるまちの実現に向け、地域の実情に応じたきめ細かな支援を行います。家庭や職場などでのジェンダー※平等、女性の活躍、仕事と出産・子育ての両立など、若い世代の行動や意識の変化を直視し、アンコンシャス・バイアスの変革を図りながら、多様な選択・生き方が尊重される地域社会の実現に向け、地域、教育機関、企業などと連携し、誰もが活躍できるまちづくりを推進します。

数値目標	出生数（累計）	5年間（R8～R12）で1,604人	
	男女の地位が平等だと思っている市民の割合	22.4%（R5）	30.0%（R12）
総合計画の具体的な施策〈分野〉		重要業績評価指標（KPI）	
(1) 公営住宅の整備、維持管理 〈第2章-12 住宅、宅地 xx ページ〉	子育て世帯向け民間賃貸住宅戸数		
		26戸（R5）	30戸（R12）
(2) 教育環境の整備 〈第3章-2 義務教育 xx ページ〉	「小・中学校の教育環境」の満足度		
		81.1%（R5）	85.0%（R12）
(3) 義務教育内容の充実 〈第3章-2 義務教育 xx ページ〉	少人数学級などの実施に伴う教員数の増員数		
		47人（R5）	52人（R12）
(4) 母子保健の充実 〈第4章-2 保健 xx ページ〉	乳幼児健診の受診率		
		98.4%（R5）	99.0%（R12）
(5) 社会保障を支える人材の育成・確保 〈第4章-4 社会保障 xx ページ〉	ふるさと介護福祉士・保育士・看護師育成支援事業活用就職者数		
		115人（R5）	252人（R12）
(6) 子育て支援拠点の充実 〈第4章-5 子ども福祉 xx ページ〉	「子育ての環境や支援」の満足度		
		77.1%（R5）	84.4%（R12）
(7) 保育サービスの充実 〈第4章-5 子ども福祉 xx ページ〉	保育園等受入可能児童数		
		1,059人（R5）	1,100人（R12）
(8) 子どもの医療費の助成 〈第4章-5 子ども福祉 xx ページ〉	子ども医療受給対象者（登録者数）		
		3,729人（R5）	4,000人（R12）
(9) 共生社会の実現に向けた取組の推進 〈第4章-8 共生社会 xx ページ〉	広報紙の掲載回数		
		6回（R5）	6回（R12）
(10) 男女共同参画社会の実現 〈第4章-8 共生社会 xx ページ〉	積極的に育児に参加している父親の割合		
		71.2%（R5）	76.0%（R12）

(11) 移住・定住の促進 〈第5章-4 交流、移住・定住 xx ページ〉(再掲)	結婚新生活支援事業補助件数	
	22件 (R5)	38件 (R12)
【関連するSDGsの目標】 1, 2, 3, 4, 5, 8, 9, 10, 11, 12, 16, 17		

※アンコンシャス・バイアス：自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいい、「無意識の偏見」と呼ばれる。

※ジェンダー：社会的・文化的に形成された性別（社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」）のこと。

## 基本目標4

### ひとが集う、安全・安心で快適に住み続けられるまちをつくる

#### 【豊かな生活環境づくりとまちの魅力化】

#### 基本的方向

誰もが安全・安心でいつまでも快適に過ごすことができるよう、効率的で効果的な行政運営を推進しながら、地域コミュニティや生活必需サービスを維持・確保するとともに、地域の多様な担い手の参画と地域内外の連携を図り、町民の生活を取り巻く課題の解決と地域の強みを活かしてまちの魅力化に取り組み、支え合いのまちづくりを推進します。

数値目標	住み良いと感じている町民の割合	88.7% (R5)	89.0% (R12)
	町民の定住意向	91.6% (R5)	92.0%以上 (R12)
総合計画の具体的な施策〈分野〉		重要業績評価指標 (KPI)	
(1) 循環型社会づくりの推進 〈第2章-1 環境保全 xx ページ〉	温室効果ガスの排出量	6,704t (R5)	5,135t (R12)
(2) コミュニティバスと農村地域予約制乗合タクシーの利便性向上 〈第2章-4 公共交通 xx ページ〉	「コミュニティバスの利用のしやすさ」の満足度	73.3% (R5)	78.5% (R12)
(3) 防災対策の充実 〈第2章-6 防災、消防 xx ページ〉	自主防災組織の組織率	84.1% (R5)	86.0% (R12)
(4) 国道、道道の整備促進 〈第2章-8 道路 xx ページ〉	「道路の整備・管理」の満足度	70.1% (R5)	75.0% (R12)
(5) 生涯学習の推進体制、人材の確保 〈第3章-5 生涯学習 xx ページ〉	「生涯学習の情報や機会の提供」の満足度	85.7% (R5)	87.0% (R12)
(6) 利用しやすいスポーツ活動の場づくり 〈第3章-7 スポーツ xx ページ〉	「スポーツ施設の充実」の満足度	83.4% (R5)	85.0% (R12)
(7) 芸術文化活動の促進 〈第3章-8 芸術、文化 xx ページ〉	文化・芸術事業の参加者数	13,077人 (R5)	18,300人 (R12)
(8) 地域福祉の推進 〈第4章-1 地域福祉 xx ページ〉	福祉ボランティア団体登録数	33団体 (R5)	40団体 (R12)
(9) 健康に対する意識づくり、情報の共有 〈第4章-2 保健 xx ページ〉	ヘルスケアポイント事業の参加者数	473人 (R5)	1,100人 (R12)
(10) 医療体制の充実 〈第4章-3 医療 xx ページ〉	「病院・診療所などの医療環境」の満足度	75.0% (R5)	82.0% (R12)
(11) 在宅・施設サービスの充実 〈第4章-6 高齢者福祉 xx ページ〉	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	8,470人 (R5)	11,000人 (R12)

(12) 高齢者の社会参加、生きがいづくりの促進 〈第4章-6 高齢者福祉 xx ページ〉	「高齢者の介護予防・自立支援」の満足度	
	77.4% (R5)	79.0% (R12)
(13) コミュニティ活動の促進 〈第5章-1 コミュニティ xx ページ〉	町内会加入促進事業の申請件数	
	40件 (R5)	50件 (R12)
(14) 広域行政の推進 〈第5章-7 広域行政 xx ページ〉	広域行政事務数	
	5年間 (R8~R12) で新たに3件	
【関連するSDGsの目標】		
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 16, 17		

## 横断的な目標

多様な「知」・「技術」を紡ぎ、官民共創でまちをつくる

【共創によるまちづくり】

## 基本的方向

施策展開において、AI・デジタルの新技术を積極的に活用するとともに、行政と民間企業、教育機関などの多様な「知」・「技術」を持つ主体が、地域を超えて連携し、まちの課題解決や地域経済の成長につながるアイデアを創出する共創のまちづくりを推進します。